



たばたあずみ
Tel・Fax 550-6674



山根とみえ
Tel・Fax 550-4224



戸沢ひろゆき
Tel・Fax 558-9721

3月市議会

山根とみえ議員の一般質問

日本共産党の山根とみえ議員は、3月議会の一般質問で（1）雪害対策と市民生活への影響（2）投票率向上の改善策（3）空き家になっている市営住宅の安全対策について質問しました。以下質問の要旨をお知らせします。

除雪対策と市民生活への影響について

除雪に関する苦情多数寄せられる

2月の大雪では交通や集落の孤立など市民生活に大きな影響を及ぼしました。当市では苦情や要望はどれくらい寄せられたかの質問に、15日から17日までの3日間で119件寄せられ、うち「いつ除雪をするのか」「除雪するのが遅い」など除雪に関するものが106件寄せられた。除雪が遅れた理由として除雪対応の委託業者が15社のうち、9社が東京都とも契約しているため市専門の業者は6社と少ないことがあげられました。今後は委託業者を増やしていくことが課題であると答弁しました。

農業者への支援を急いで

当市における被害状況についての質問に、市は、カーポートや住宅の屋根の崩壊、ビニールハウス等の損壊が多数発生、また一部道路の交通止め、「るのバス」の運転見合わせやごみ収集の中止も余儀なくされたと答弁。山根議員は被害の多かったビニールハウスの撤去費用など、農業者への支援を急ぐよう要請しました。市は国や都の具体的な動きが来っていない、国や都の細かい制度設計も踏まえて市も動きたいと答弁しました。



大雪で倒壊したビニールハウス・カーポート

市政懇談会のご案内

5月6日(火) 14時～16時

場所 あきる野ルピア4階会議室

お誘い合わせの上多数ご参加ください。

町内会・自治会に除雪機具設置を

今回の大雪では、スコップなどの除雪機具がないためにいろいろな工夫して除雪をしている市民もたくさんいました。山根議員が町内会・自治会に除雪機具を補助できないか質問すると、市は要望があれば東京都の地域底力再生事業助成制度を活用していただきたいと答弁しました。

投票率向上の改善策について

2月9日の東京都知事選挙は、大雪の影響もあり当市の投票率は40.1%と前回より19.91%低下しました。投票所が遠い地域など投票に行かなかった市民もいることから、投票所の増設や、投票所の区割りの変更が（例えば二宮昭和橋付近は農業会館より小川会館の方が近い）できないか求めました。市は投票所の増設は考えていないが、区割りについては随時見直しを行っていきたいと答弁。また、寝たきりなど在宅で介護を受けている方で投票所に行けない方も投票ができるよう、郵便投票の方法をもっと利用しやすく国に法改正を求めるよう要請しました。市は国及び東京都の選挙管理委員会などと連携を図り、国へ要望していきたいと答弁しました。

市営住宅空き家の安全対策を

市営住宅9団地57棟のうち22棟が空き家になっています。近隣住民から不安の声が寄せられていることから、住宅を撤去することを含め何らかの安全対策をとるよう求めました。市は、職員が毎月パトロールを行うと共に、年2回程度草刈りを実施している、撤去については草花公園住宅への転居後に団地ごとの解体を予定していると答弁。山根議員はパトロールの際に近隣住民の声も聞くなど、万全な対策をとるよう再度強く求めました。

法律相談

5月22日(木) 13時30分～15時

予約が必要です。市議団までご連絡ください。



質問する山根議員